

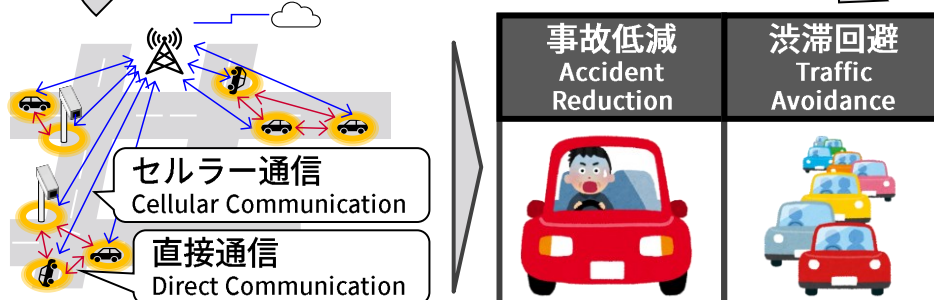
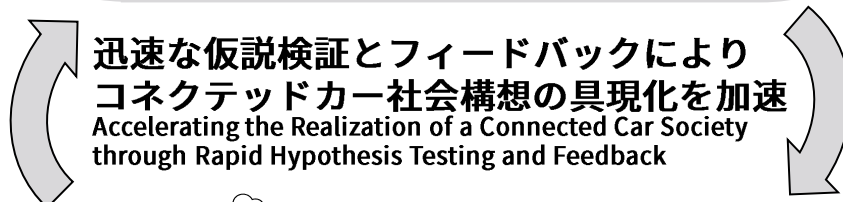
コネクテッドカーの無線評価シミュレータ

シミュレータによる評価を活用し、協調型自動運転
ユースケースの早期実現に貢献します

#顧客体験価値向上

仮想空間による街レベルでのセルラー通信性能評価

City-Level Cellular Communication Performance Evaluation Using
Virtual Space



セルラー通信を活用したコネクテッドカー社会構想
Connected Car Society Concept of Utilizing Cellular Communication

///技術課題

協調型自動運転において多数の車を対象とする場合、
無線区間の通信について実機による検証は困難です。

///研究目標

シミュレータによる知見から、協調型自動運転にお
けるユースケースをセルラー通信で実現することで、
交通事故低減や渋滞削減を実現します。

---要素技術

- ・ セルラー通信で用いる基地局情報について、ドコモの有するデータを活用
- ・ 交通流シミュレータと伝搬シミュレータの連携
- ・ 直接通信とセルラー通信方式に対応

---適用ビジネス

交通社会において、シミュレータによる知見を、安全運転支援や協調型自動運転支援に適用

---市中技術差異点

- ・ 実際の基地局データを活用することで、現実に近い環境での評価が可能
- ・ 交通流シミュレータにより車両の移動を加味する事で、現実に近い街レベルでの評価が可能
- ・ 直接通信とセルラー通信を異なる通信方式で評価した場合に
対して、同一環境下で評価することで正確な比較検討が可能